

株式会社 日高振興公社

決算書類

第 30 期

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

## 株式会社日高振興公社 第30期 事業報告

### 1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、コロナ禍から緩やかな回復基調が続く中で、観光業やサービス業が徐々に回復しました。特に外国人観光客の増加が経済にプラスの影響を与えた一方で、労働者不足という課題に直面しました。また、中東やウクライナの情勢はエネルギー価格の変動を引き起こし、それが日本の輸入コストの増加に繋がり、ひいては企業の生産コスト、さらには消費者物価にまで大きく影響しました。

令和5年度の神鍋高原の夏季観光客の入込状況は、教育・文化・スポーツ合宿の再開により入込が増え、約13万3千人（前年度約12万2千人）、前年度比109%となりました。一方で冬季は、降雪に恵まれず、神鍋高原スキー場は約3万8百人（前年度約8万4千人）、前年比37%となりました。弊社の12月から3月までの総売上は、5,449万円（前年5,805万円）、前年比94%となりました。その期間、経済支援クーポンは107万円（前年1,328万円）、前年比8%となりました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、兵庫県内の道の駅や直売所の意見交換やコンサルタントによるアドバイス、山陰海岸ジオパーク内の地元企業・高等学校・生産者等との連携強化により、店舗展開（集客・客単価アップ）や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、部門ごとに経費実態（部門別管理表・ランニングコスト推計表等）を月次検討し、部門別の課題の抽出を行いました。

さらに、イベント計画・商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、当事業年度は経費削減、労務改善の実施、アフターコロナに向けた運営等についても全従業員で取り組みました。

#### ○来客数

道の駅「神鍋高原」	111,658人	（前年度比：103%	3,696人）
神鍋温泉ゆとろぎ	52,113人	（前年度比：89%	△6,538人）

結果、当事業年度における業績は、

売上高	189,895千円	（前年度比：103%	6,302千円）
営業利益	△7,665千円	（前年度比：—%	△2,651千円）
経常利益	△5,972千円	（前年度比：—%	△3,706千円）
当期純利益	△6,183千円	（前年度比：—%	△3,707千円）
		（前年度：△2,476千円）	となりました。

## (1) 道の駅「神鍋高原」

### ① 売店部門

当事業年度も物価高騰による価格改定が続き、廃番商品も増え、品揃えにも影響がでました。さらに、兵庫県の家計応援キャンペーンのはばタン Pay プラス等、経済支援クーポンの利用が 754 千円（前年度比 6%）となり、大幅に減少しました。

情報発信として、テレビでは、6月に朝日放送「アタック 25NEXT」にて谷原章介さんに神鍋高原キャベツを丸かじりしてもらい、高原キャベツの魅力を発信して頂きました。9月に ABC テレビ「news おかえり」や 11月に旅雑誌「旅色」の取材にてトリンドル玲奈さんに特産品を紹介していただきました。

商品開発として、7月に神鍋産ブルーベリーを使用した「神鍋ブルーベリーアイスメロンパン」の販売を開始しました。12月からは神鍋 3 箇所「神鍋スキーリフト券」の取り扱いを開始し、温泉やお食事付のお得なセット券も併せて販売しました。10月から新米フェアを実施し、レストランとの連携で神鍋のお米を PR し販売強化を行いました。

新たな取り組みとして、4月に日高・但馬農業高校や地元企業との連携し、前年よりも、内容を充実させた、「道の駅の日イベント」を開催しました。また、現金以外の決済方法として、QR決済の導入を行い、9月からはばタン Pay プラス、12月から PayPay の取り扱いを始め、利用者には大変好評でした。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」のおすすめ商品と位置付け、ポスターや SNS 等と連動し、他店舗との差別化を図りました。

○ほんまもん神鍋	年間販売数：11,775 個	売上金額：7,217 千円
○高等学校商品	年間販売数：7,046 個	売上金額：1,663 千円
○キャベツチップ	年間販売数：2,658 個	売上金額：1,428 千円
○神鍋山荘するめ糍漬	年間販売数：701 個	売上金額：771 千円
○コウノトリ育むお米	年間販売数：461 個	売上金額：1,321 千円

※年間販売数量の多い順番に並べています。

### ② 飲食部門

毎年 7 月・8 月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」を開催し、客数 325 名、売上金額 1,014 千円、バス乗客約 100 名、昨年より約 38 名増、売上金額 556 千円増、前年比 224%とより賑わいを取り戻してきました。また、経営改善の為、コンサルタントの指導により、料理内容及び仕入れの見直し、原価意識の向上を図りました。

平日の利用促進として、10月より月替わりメニューを開始し、新米メニュー、神鍋野菜の豚汁定食、神鍋清流サーモン丼を展開。さらに節分には恵方巻を PR し、神鍋清流サーモンを使った太巻きを販売した結果 118 本の予約をいただくなど地元の食材を中心にした料理の提供を行い販売しました。また、レストランの一部を共有スペースとして貸し出し、ミーティングや出張ワークに利用していただき、10月には豊岡市主催の「豊岡ファンミーティング」にて、地産地消料理でおもてなしをさせて

いただきました。

土、日、祝日のランチビュッフェは順調で1年間を通して営業できました。客数15,027名（前年比133%）、売上金額17,300千円（前年比139%）となり、昨年より客数3,687名増加、売上金額4,840千円増加となりました。また、原材料の高騰により、1月から大人・シルバー料金の値上げも行いましたが、メニューにも地元の食材を多用することにより「食」による魅力発信に努めました。

新たな取り組みとして、9月より業務委託により広報を強化し、料理撮影やレシピ開発、ポスターやSNSでの情報発信を積極的に行いました。10月にホームページをリニューアルし、団体向けメニューや新商品の情報発信を行い、2月より予約サイト「じゃらん」に登録しました。また、スノーシーズンではスキーリフト稼働日に併せて夜営業を実施し売上確保に尽力しましたが、雪不足で結果は出ませんでした。

1年を通して、季節感、イベント感を全面に出すことをテーマに掲げたレストランに変えつつあります。

## （2） 神鍋温泉ゆとろぎ

当事業年度は、6月にレジオネラ菌発生により、約1か月の休業となり、営業にも大きく影響しましたが、売上金額は前年とほぼ同じ数値まで回復しました。菌の発生には十分注意し、衛生管理を徹底していきます。

当年度も物価高騰により、経営を圧迫していた燃料費は前年度比81%、1,658千円を削減しました。特に木質ペレットの使用量を増やし、ガス燃焼時間の短縮によりガス使用量を前年度比61%削減し、燃料費削減に繋がりました。さらに7月から温泉の入浴料を現行の700円から800円に値上げを行いました。また、水道光熱費は前年度比80%、1,536千円削減ができました。

スキー場は前年に比べ積雪量が少なく、営業日数31日（前年度比44%）となり、「スキーリフト券利用者割引」の利用者も2,154名（前年比41%）と前年より大幅に減少しましたが、グリーンシーズンの「神鍋高原キャンプ場利用者割引」5,959名（前年比173%）と前年より大幅に利用者が増えました。定番の「JAFカード会員割引」6,318名、「あいカード会員割引」3,856名、「フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫神鍋高原利用者割引」877名など、提携した割引サービスには一定の効果がありました。

入浴以外の売上金額3,678千円（前年比105%）となり、昨年より166千円増加となりました。ドリンクや食品販売の取り扱い数量を増やし、食品以外もコウノトリ育むお米を使用したシャンプーや入浴コスメ類、サウナグッズなどの充実に加え、入浴後に利用いただく高性能なマッサージチェアを導入し誘客に努めました。

新たな取り組みとして、9月から季節感のあるお茶の振舞い、12月よりQR決済のPayPayを導入しました。1月以降、玄関前にイルミネーションを設置し、2月からはメンズデーとして、サウナの室温を5度上げたり、レディースデーとして、特別なアメニティを設置し、サービス向上に努めました。また、新規顧客の取り込みの為

に、LINE 登録キャンペーンを行い、集客に繋げることができました。また、客単価アップを目標に湯上り後の飲食に力を入れ、31 アイスクリーム、コンビニ仕様の売店商品等、キャンプ客、他県からの来客向けの附帯販売に力をいれました。サウナ室の改善にも注力し、ヒノキ板の入れ替え等で利用者サービスを意識しサウナブームによる若者の利用促進につなげました。

## 2 事業実績

### 売上高の推移

単位：千円

区 分	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期	第 30 期
売店部門	107,315	113,343	107,367	117,447	117,441
飲食部門	32,510	17,835	21,622	24,576	30,270
温泉部門	37,654	33,477	39,483	37,343	37,857
市受託料	3,954	3,969	4,024	4,227	4,327
合 計	181,433	168,624	172,496	183,593	189,895

### 営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期	第 30 期
経常利益	△3,195	3,592	2,302	△2,266	△5,972
当期純利益	△2,600	3,304	1,572	△2,476	△6,183
総資産	34,296	70,317	72,338	70,580	35,207
純資産	22,597	25,901	27,472	24,996	18,813

## 3 会社の概要

### (1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

### (2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

### (3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	池 田 敬 一
取 締 役	柳 沢 和 男
取 締 役	西 田 清
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	岡 藤 泰 明
監 査 役	米 田 紀 子
監 査 役	玉 置 孝 至

### (4) 従業員の状況

区 分	人 数
正 社 員	5 人
パート社員等	23 人
合 計	28 人

決 算 報 告 書

第 30 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

# 貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 6年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 30,798,469】	【流動負債】	【 16,393,392】
現金及び預金	27,459,855	買掛金	1,473,152
売掛金	1,485,272	受託未払金	3,007,845
商 品	722,293	未 払 金	9,238,939
原 材 料	718,125	預 り 金	157,156
貯 蔵 品	348,772	預 り 敷 金	100,000
未 収 入 金	64,152	法人税等充当金	212,000
【固定資産】	【 4,408,270】	未払消費税	2,204,300
(有形固定資産)	( 3,073,919)	負債の部計	16,393,392
建 物	2,282,010	純資産の部	
建物附属設備	1	【株主資本】	【 18,813,347】
車両運搬具	2	[資本金]	[ 36,000,000]
工具器具備品	469,448	[利益剰余金]	[ Δ17,186,653]
一括償却資産	322,458	利益準備金	9,000,000
(無形固定資産)	( 1,334,351)	(その他利益剰余金)	( Δ26,186,653)
ソフトウェア	1,334,351	繰越利益剰余金	Δ26,186,653
		純資産の部計	18,813,347
資産の部計	35,206,739	負債・純資産の部計	35,206,739



# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 店 売 上	117,440,530	
市 事 業 委 託 料 等	4,327,152	
レ ス ト ラ ン 売 上	30,269,616	
温 泉 売 上	37,857,245	189,894,543
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,030,130	
仕 入 高	84,850,212	
材 料 費	12,352,440	
合 計	98,232,782	
期 末 棚 卸 高	1,440,418	96,792,364
売 上 総 利 益		93,102,179
【販売費及び一般管理費】		100,767,576
営 業 利 益		△7,665,397
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	425	
雑 収 入	1,693,391	1,693,816
経 常 利 益		△5,971,581
税 引 前 当 期 純 利 益		△5,971,581
法 人 税 等 充 当 額		211,059
当 期 純 利 益		△6,182,640

# 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	5,554,200
給 料 手 当	32,628,579
福 利 厚 生 費	6,275,706
雑 給	9,070,132
シルバー委託費	2,101,968
広 告 宣 伝 費	2,802,511
運 賃	122,118
燃 料 費	6,952,835
衛 生 費	4,936,617
業 務 委 託 費	1,369,500
一 括 資 産 償 却 費	161,228
水 道 光 熱 費	12,692,567
会 議 費	121,684
事 務 費	1,585,601
消 耗 品 費	2,931,639
地 代 家 賃	38,100
支 払 保 険 料	566,780
修 繕 費	1,846,361
租 税 公 課	4,412,100
減 価 償 却 費	708,439
接 待 交 際 費	122,915
旅 費 交 通 費	65,430
通 信 費	283,558
支 払 手 数 料	2,421,710
賃 借 料	307,216
諸 会 費	470,715
購 読 費	60,197
雑 費	157,170
合 計	100,767,576

## 株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

	株 主 資 本		利 益 剰 余 金		自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金					
当期首残高	36,000,000			9,000,000		24,995,987			24,995,987
当期変動額									
当期純利益						△6,182,640			△6,182,640
当期変動額合計						△6,182,640			△6,182,640
当期末残高	36,000,000			9,000,000		18,813,347			18,813,347

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		
	利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計
当期首残高	9,000,000	△20,004,013	△11,004,013
当期変動額			
当期純利益		△6,182,640	△6,182,640
当期変動額合計		△6,182,640	△6,182,640
当期末残高	9,000,000	△26,186,653	△17,186,653

# 個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな御資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に

取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

## 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……38,049,751円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数……720株

当事業年度末日における自己株式の数……0株

## 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額……26,129円64銭

1株当たりの当期純利益……△8,587円00銭

# 株式会社 日高振興公社 第31期（次期）事業計画及び予定損益計画

## 事業計画

1993年に正式運用がスタートした国土交通省が所管する施設「道の駅」は、休憩・情報発信施設から地方創生の中心拠点へと変化を遂げてきました。近年では、「地域連携」の機能が重視され、地域の特産品やサービスを展開する地方創生の拠点となっています。

地方創生の中心拠点となっている道の駅は、情報発信、休憩、地域連携の3つの機能を有しており、この3要素が融合して「地域と共に創る個性豊かなにぎわいの場」が整備されています。

「道の駅神鍋高原」においても、来期2025年の新装オープンに向けて機能強化、地域連携強化を図りつつ、「機能の拡充によるハード・ソフト双方の拡充」に焦点を当て、天候に左右されない経営基盤の確立を進めていくことに注力します。

### 重点・機能のまとめ

① 産業振興	地域の特産品を活かした農業振興
② 地域福祉	地域の高齢化に対応した UT（ユニバーサルツーリズム）
③ 交通結節点	公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供
④ 防災	災害時に高度な防災機能を発揮する道の駅としての機能
⑤ 観光総合窓口	地域の魅力を発信する機能（地域限定旅行業）
⑥ インバウンド観光	新たな顧客需要を発信する体験型企画販売
⑦ 地方移住促進	移住者の受入、ふるさと納税推進に貢献する道の駅
⑧ 交流・連携	イベントを中心とした交流、他のエリアとの連携

### 1. 売店

#### a) 産直販売

- 神鍋周辺の農産物の売上増大を可能にする（誘客との連携）
- 消費者に生産者の顔が見える売場づくり（マルシェの実施）
- 生産者（ふれあいふぁーむ友の会）との連携と生産拡大

#### b) お土産販売

- PB商品の開発、他の道の駅との差別化
- 花、苗などの販売強化
- 米、野菜等の加工品を使った総菜販売計画

- WEB 販売：ふるさと納税開始 7 月、神鍋粉販売
- 観光客、インバウンド向け商品の拡充
- コラボ商品計画

## 2. レストラン（お食事処）

- 地元野菜に特化したメニュー（ビュッフェ、定食）
- 月替わりメニューで平日の来店数を増やす
- 団体、弁当等予約販売強化
- ランチ営業後の喫茶営業への対応

## 3. 温浴（ゆとろぎ温泉）

- サウナ施設の整備、空間づくり
- マッサージ等の附帯サービスの導入
- 季節を感じるおもてなしイベント
- 健康志向の高まりを意識した湯上りの充実

## 4. テナント

### a) Pain de “A”

- 通年行われるイベントに合わせた商品づくりを依頼し協働していく
- 道の駅にあるパン屋である特色を生かし、朝食サービス、軽食への商品提供を深める

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和6年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和7年3月31日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
<b>【売上高】</b>		
売 上	223,630,000	
受 託 料 等	4,300,000	
		227,930,000
<b>【売上原価】</b>		
期 首 棚 卸 高	1,440,418	
仕 入 高	93,800,000	
材 料 費	16,252,000	
合 計	111,492,418	
期 末 棚 卸 高	1,440,418	110,052,000
売 上 総 利 益		117,878,000
<b>【販売及び一般管理費】</b>		109,555,000
営 業 利 益		8,323,000
(営業外損益の部)		
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息		
雑 収 入		700,000
<b>【営業外費用】</b>		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		9,023,000

# 予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和6年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和7年3月31日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	5,990,000	
給 料 手 当	34,010,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,300,000	
雑 給	9,000,000	
シ ル ハ - 委 託 費	2,150,000	
広 告 宣 伝 費	3,000,000	
運 賃	110,000	
燃 料 費	7,500,000	
衛 生 費	6,500,000	
水 道 光 熱 費	13,800,000	
一 括 資 産 償 却 費	800,000	
会 議 費	100,000	
事 務 費	1,500,000	
消 耗 品 費	3,591,000	
地 代 家 賃	40,000	
支 払 保 険 料	600,000	
修 繕 費	3,000,000	
租 税 公 課	4,129,000	
減 価 償 却 費	1,000,000	
接 待 交 際 費	200,000	
旅 費 交 通 費	150,000	
通 信 費	250,000	
支 払 手 数 料	3,480,000	
貸 借 料	1,700,000	
諸 会 費	480,000	
購 読 費	55,000	
雑 費	120,000	
合 計		109,555,000